

科目区分：外国語科目（英語）

授業科目名	英語コミュニケーション					学期	曜日	校時
英語名	English Communication							
担当 教官名	小笠原 真司	単位数	1単位	必修 選択	必修	前期	水曜日	1校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>テキストを利用して、まず聞き取る練習を、いろいろなリスニングストラテジーに基づいて、行います。このリスニングストラテジーを習得することで、リスニングの力を短期間に向上させます。</p> <p>また、テキストを利用して、構文を整理しながら、CDを用いて、基本的な例文や会話を聞いて英語を繰り返す練習と行います。これはリピーティングという練習で、話す練習の基礎訓練です。この練習をたくさんすることで、たくさん話せる英文を身につけることもできます。</p> <p>さらに、応用練習として、ペアで、あるいは、みんなの前で、まとめた内容を英語で話す練習、スピーキングを行います。ペアワークは大切な活動です。そのために、2回程度、英語の原稿を書いてもらう予定です。できる範囲で、書く活動、ライティングに関しても指導を行います。また、相手の言う英文の内容を、まとめたり、質問したりする練習もペアワークで行います。</p> <p>決して、受身的な態度で授業に参加しないでください。また、ポップミュージック等を利用して、リズム、発音等の音声英語の指導も行います。</p> <p>授業の効果を高めるためにも学生は、極力欠席をさけ、積極的に授業に参加してください。英語力をつけるため、毎回、課題も出しますので、家庭学習もきちんと行うことを要求します。がんばって英語の力をつけてください。必ず1回目の授業から参加してください。授業に対する学生の積極的な取組みを期待します。</p> <p>なお、授業に関する質問や英語に関する相談は、授業終了後あるいは、研究室のオフィスアワー（小笠原の研究室の前に掲示しております）の時間帯にお願いします。</p>								
テキスト、教材等								
<p>教科書は、1回目の授業のとき紹介し、教室で販売します。また、必要に応じてプリント教材を使用します。2冊とも購入してください。</p> <p>使用教科書 リピーティングで学ぶ話すための基本構文（Kinseido ¥1900） コミュニケーションのための実践演習（Kinseido ¥1100）</p>								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
L f	定期試験の結果を70%、小テストや授業中のアクティビティの結果を30%とし、総合的に評価します。							
授業計画								
第1回	Unit 1					ポップ	ソング	(1)
第2回	Unit 2	リピーティング1-1				ポップ	ソング	(1)
第3回	Unit 3	リピーティング1-2						
第4回	Unit 4	リピーティング2-1						
第5回	Unit 5	リピーティング2-2						
第6回	Unit 6	リピーティング5-1				ポップ	ソング	(2)
第7回	Unit 7	リピーティング5-2				ポップ	ソング	(2)
第8回	Unit 8	リピーティング5-3						
第9回	Unit 9	リピーティング5-4				ポップ	ソング	(3)
第10回	Unit 10	リピーティング5-5				ポップ	ソング	(3)
第11回	Unit 11	リピーティング5-6						
第12回	Unit 12	リピーティング9-1				ポップ	ソング	(4)
第13回	Unit 13	リピーティング9-2				ポップ	ソング	(4)
第14回	Unit 14	リピーティング9-3						
第15回	定期試験							